



2016年9月16日
株式会社ファンペップ

大日本住友製薬株式会社と株式会社ファンペップの 抗体誘導ペプチドに関する共同研究契約締結について

株式会社ファンペップ（本社：大阪府茨木市、代表取締役社長：平井昭光、以下「ファンペップ」という。）は、大日本住友製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：多田正世、以下「大日本住友製薬」という。）との間で、9月15日、特定の標的分子に対する抗体誘導ペプチドの共同研究契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

ファンペップは、大阪大学大学院医学系研究科との共同研究により、プラットフォーム技術「STEP UP」を用いた抗体誘導ペプチドの研究開発を進めております。抗体誘導ペプチドは、標的分子の働きを阻害する抗体を体内で産生させるようにデザインされたペプチド医薬品候補です。

今回の共同研究により、ファンペップは、大日本住友製薬が持つ創薬ノウハウを生かし、特定の標的分子に対する抗体誘導ペプチドの創出を目指してまいります。

なお、ファンペップは、今回の共同研究において、今後、大日本住友製薬より研究支援金を受け取る予定です。



<参考情報>

抗体誘導ペプチド

抗体誘導ペプチドは、ファンペップが大阪大学大学院医学系研究科との共同研究により実用化を目指している機能性ペプチドで、標的分子（疾患関連タンパク質）の働きを阻害する抗体を体内で産生させるようにデザインされています。

感染症予防ワクチン等の従来ワクチンとは異なり、獲得免疫システムのうち、細胞性免疫（細胞障害性 T 細胞）を活性化せずに、抗体産生に関連する液性免疫（B 細胞）を選択的に活性化させることが特徴です。ファンペップは、細胞性免疫を活性化することによる副作用（自己免疫反応）を回避し、抗体誘導ペプチドを生活習慣病等の慢性疾患治療薬として実用化することを目指しております。

抗体誘導ペプチドは、免疫システムに標的分子の情報を記憶させることで、数ヶ月に一回の投与で抗体を維持し、薬効を持続させる長期作用型医薬品として研究開発を進めています。このため、高価な抗体医薬の代替技術（「BioAlternative」）となる可能性や、生活習慣病等の「服薬コンプライアンス」の問題を解決する可能性を秘めています。

ファンペップでは、抗体産生を選択的に誘導することから、このペプチドを「抗体誘導ペプチド」と呼んでおります。

プラットフォーム技術「SPIRIT」「STEP UP」

ファンペップは、機能性ペプチドを創製するプラットフォーム技術「SPIRIT（Smart Peptide Research Integrated Technology）」、特殊な機能性ペプチドである抗体誘導ペプチドを創製するプラットフォーム技術「STEP UP（Search Technology of EPitope for Unique Peptide vaccine）」を保有しております。

当社は、これらのプラットフォーム技術に基づき、機能性ペプチドを創出し、医薬品、化粧品及び医療機器等の幅広い分野へ応用を図っていく方針です。

<お問い合わせ先>

株式会社ファンペップ 管理部

東京オフィス：東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-8-4 第7 瑞穂ビル 3 階

Tel：03-5315-4200 Fax：03-5315-4203

E-mail：info-fpp@funpep.co.jp

以上